

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名:レーザー科学研究所

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	S	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		Creative analytics社のInCitesによる国際連携論文の割合が約60%と高いレベルにあることや、レーザー駆動中性子源開発において、中性子発生数の世界記録を達成し、非破壊検査への応用に向けた研究が開始されたことが評価できる。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		大学間学術協定1件、部局間学術協定を5件締結し、米国、独国、ルーマニア、ベトナムに連携オフィスを設置したこと、積極的に先方スタッフをクロス・アポイントメントで雇用し、連携オフィス運営にあたっていること、ルーマニアとの国際連携が日本-ルーマニア科学技術交流会議で重要な科学技術交流案件として取り上げられたことが評価できる。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		教授会・教授懇談会・ファカルティ会議の運営を見直すことで、時間の短縮や出席率の改善につながり、若手研究者も含めた意見集約や合意形成ができるように改善が図られており、また、外部資金獲得を奨励するための意識改革を行ったことが評価できる。

【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

【評価コメント】
競争的資金(科研費以外)の採択件数・金額について、全研究者が集まるファカルティ会議において、1件/人以上の申請を目標として共有し、実績を大きく向上させたことが評価できる。
また、外国籍教員の採用に積極的に取り組むことで、外国籍教員の割合を向上させたことが評価できる。